

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.163



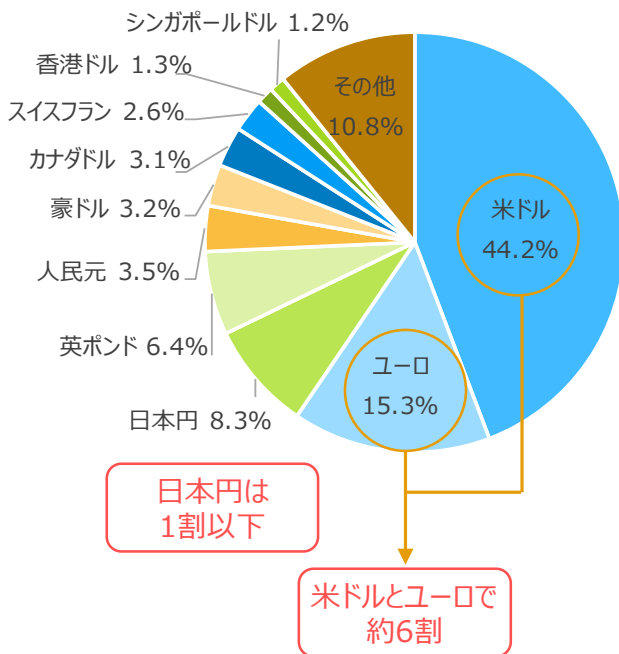
外国為替市場で、主な為替とその取引割合はどのくらいですか？



外国為替市場では、米ドルの取引高が全体の約44%を占めています。通貨ペア（通貨の組合せ）で見ると、対米ドルの取引は全体の約88%となっています。

- ◆ 外国為替市場における取引高を見ると、最も割合が多いのは米ドルで全体の約44%と半分近くとなっています。次いでユーロが約15%となっています。つまり、米ドルとユーロで全体の約6割を占めています。日本円は、取引高シェアでは第3位ですが、その割合は約8%と1割にも達していません。
- ◆ また、中国・人民元がシェア第5位に上昇するなど、新興国経済の発展などに伴って、主要通貨以外の取引も増加してきています。日米欧、中国の次には、資源国通貨の豪ドルやカナダドルなどの取引高がその他の通貨に比べて多くなっています。
- ◆ 一方、通貨ペア（米ドル/円など、2つの通貨の組合せ）別で見ると、米ドルとの組合せが全体の約88%と、多くを占めています。

外国為替市場における
通貨別取引高シェア



外国為替市場における
通貨ペア別取引高シェア

通貨ペア	シェア (%)
1 米ドル/ユーロ	22.7
2 米ドル/日本円	13.5
3 米ドル/英ポンド	9.5
4 米ドル/人民元	6.6
5 米ドル/カナダドル	5.5
6 米ドル/豪ドル	5.1
7 米ドル/スイスフラン	3.9
8 米ドル/香港ドル	2.4
9 米ドル/シンガポールドル	2.3
10 ユーロ/英ポンド	2.0
11 米ドル/韓国ウォン	1.7
12 米ドル/インドルピー	1.6
13 米ドル/メキシコ	1.4
14 ユーロ/日本円	1.4
15 米ドル/ニュージーランドドル	1.3
その他 (対米ドル)	11.1
その他 (対ユーロ)	4.4
上記以外	3.7
合計	100.0

対米ドルの取引が大半を占めている

(注1) データは2022年4月の1日当たり平均。
 (注2) 四捨五入の関係で、合計が100%とならない場合があります。
 (出所) BIS (国際決済銀行) のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。